

第26期 第9回法学委員会会議要旨

日時： 令和7年4月4日（金）20:30～21:00

会場： オンライン会議システムによる開催

出席者：大久保規子、大塚直、小畑郁（幹事）、川嶋四郎（委員長）、島岡まな（副委員長）、
島村健、只野雅人、丸谷浩介、三成賢次、山田八千子（幹事）

欠席者：越智敏裕、南野佳代

（以上、敬称略・五十音順）

議 題

1.4月2日開催第一部懇談会後の今後の活動について

次回総会における議案の提出に向けた状況について確認された。

令和7年4月2日（水）にオンラインで実施された第一部懇談会（非公開）を受け、今後の法学委員会の今後の活動について、意見交換をおこなった。

同懇談会において、法学委員会の提出した「日本学術会議法案に対する評価」（令和7年3月17日法学委員会議事要旨参照）の説明がなされ意見交換がされたことを確認し、日本学術会議法案は5要件のすべてを充足するものではなく、かつ5つの懸念を払拭するものでないため修正を求めることにつき、日本学術会議総会にて明示的に会員の意思表示をするべきであることが確認された。

この意思表示を目指して、第2部および第3部に対して、同評価についての説明をするなど法案の論点について追加的説明をおこなうことが必要ではないか、追加的な説明をする場合どのようなものか、ということめぐり意見交換された。

2.その他

特になし

<別添資料> なし